

2021年12月17日

各 位

会 社 名 株式会社ストリームメディアコーポレーション
代表者名 代表取締役社長 崔 官鎔
(証券コード4772 JASDAQ グロース)
問合せ先 取締役経営企画部門長 山田 政彦
(TEL 03 - 6809 - 6118)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定されている株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日グロース市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準を充たしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成いたしましたので、お知らせいたします。

記

○ 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式比率については基準を充たしておりません。当社は、流通株式比率に関しては2024年12月末までを目途に上場維持基準を充たすために取組を進めてまいります。

	流通株式 (単位)	流通株式時価総額 (円)	流通株式比率 (%)	時価総額 (円)
当社の状況 (移行基準日時点)	247,521	5,387,039,083	21.4	25,175,176,727
上場維持基準	1,000	500,000,000	25	4,000,000,000
計画書に記載の項目	—	—	○	

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

○ 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

当社は、2020年8月1日付の株式会社SMEJとの吸収合併により、親会社である株式会社エスエム・エンタテインメント・ジャパンによる保有をはじめとした大幅な株主構成の変更が生じたため、上記表に記載のとおり「流通株式比率」がグロース市場の上場維持基準を下回っております。

当社といたしましては、流通株式比率の改善に向けた施策として、当社株式を保有している大株主(親会社)に対し、取引市場での売付け及び取引市場外での売買を要請すること等要望を伝えておりますが、短期間に大量の株式を市場に供給することは株価形成においてマイナスの影響も大きいことを考慮する必要があります。

また、2020年7月31日に公表いたしましたとおり、当社は当該吸収合併に伴い現在「合併等による実質的存続性の喪失に係る猶予期間」に入っていることから、先ずは2023年12月31日までに上

場廃止基準に係る猶予期間を解消することを最優先としながら、2024年12月末までを目途に上場維持基準（流通株式比率25%以上）を充たすための施策を実施してまいります。具体的な時期及び方法につきましては株価への影響を勘案したうえで、開示すべき事項を決定次第速やかにお知らせいたします。

併せて、当社株式の流動性向上及び株主・投資家の皆様との長期的な信頼関係の構築・発展のために、IR支援会社による四半期ごとの決算レポートの開示、個人投資家説明会や機関投資家とのスモールミーティングの開催、株主優待内容の拡充など、引き続きIR活動の充実を図り、投資判断に必要な企業情報を迅速、正確かつ公平に提供するとともに、対話を通じて得られた情報や知見を企業活動に活かしてまいります。

以上